

東洋大学附属姫路高等学校地域活性部



近畿農政局選定

ぷろじえくと とうよう
PROJEC TOYO

— 休耕田の活用から未来へ広がるプロジェクト —



休耕田で小中学生と田植え



稲作作りの体験

コミュニティ・
地産地消部門

ジビエ

6次産業化



ひめじし
所在地：兵庫県 姫路市

概要

成果

- 学校が位置する書写地域は高齢化が進み耕作放棄地となった土地が多くあり、その土地を利用し農作物を栽培・商品開発をし地域の特産物にし、地域をPRしている。
- 令和元年度に休耕田で伝統野菜の「姫路若菜」を復活させ、地元の「雪乃豚」や播磨灘で獲れる「舌平目」と合わせた3種の缶詰を考案し販売。各新聞やラジオにも取り上げられ話題となった。
- 農作物を育てる中で鹿害を受け、その鹿を地域資源として有効活用するため解体から始め試作を繰り返し鹿肉の缶詰を令和2年に考案。鹿の皮も小物に加工し利用価値を広めた。
- 令和4年に値段が高騰した小麦の代わりとして米に着目し、米作りから体験。「庭麴菌」を使った甘酒を生産・加工・販売し地域資源の発見により地域貢献が認められ、ふるさと納税返礼品になった。



自ら解体した鹿肉を商品開発のため調理実習



開発した商品